

科目名	公共政策科学	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Science and Public Policy	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	くすやま ひろあき	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	楠山大暁	修得単位	2単位
授業のテーマ	公共政策とは何か、また、資源の配分や所得の再分配を理解する。		
到達目標	解決すべき社会問題を発見し、経済学的根拠に基づいた自分なりの解決方法を考えられるようにする。		
授業概要	あなたには解決したい悩み(問題)があるでしょうか? もしかしたらそれは、あなたの個人的な問題ではなく、社会全体で解決すべき問題なのかもしれません。では、個人的な問題と社会的な問題はどのように区別されるのでしょうか? 本講義ではそもそも公共政策と何かを議論した後、具体的に家族介護の問題を取りあげ分析します。必要な介護労働のうち、どこまでを家族で担い、どこからを社会に任せるべきでしょうか? そんな問いへの答えを考えてみることにします。		
授業計画			
第1回	ガイダンス		
第2回	公共政策とは何か		
第3回	介護保険制度① 相互扶助の系譜		
第4回	介護保険制度② なぜ、介護の社会化が必要となったか		
第5回	介護保険制度③ 居宅サービス		
第6回	介護保険制度④ 施設サービス		
第7回	家族介護の限界① 現代家族の変容		
第8回	中間テスト		
第9回	家族介護の限界② 介護離職、レスパイトケア		
第10回	地域包括ケアシステム		
第11回	付加価値の計測 生産活動とは何か		
第12回	無償労働の貨幣評価		
第13回	医療と介護		
第14回	税と社会保障の一体改革		
第15回	総まとめ		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. 授業前にプリントの問題に目を通してください。理解できる箇所、理解できない箇所を明確にしてください。(2時間程度) 2. 授業後に、プリントの復習をしっかりと、すべてを理解できるようにしてください。(2時間程度)		
履修条件 受講のルール	行政学Ⅰ、公共政策論を履修していることが望ましい。 教科書を購入してください。		
テキスト	権丈善一(2018)『ちょっと気になる医療と介護』勁草書房		
参考文献・資料	秋吉貴雄・伊藤修一郎・北山俊哉(2018)『公共政策学の基礎(新版)』有斐閣		
成績評価の方法	【中間テスト(40%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受ける		

	<p>ことができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、第8回授業時に中間テストを行います。
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・金曜日 9:00～10:30</p> <p>※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	<p>もし、皆さんが政策担当者なら、どんな社会問題を解決したいでしょうか？ また、その社会問題を解決するためにはどうすればよいでしょうか？</p>